

1. 職場での腰痛予防～「職場における腰痛予防対策指針」が改訂されました

職場での腰痛は休業4日以上職業性疾患のうち6割を占める労働災害となっていますが、厚生労働省は6月に「職場における腰痛予防対策指針」を19年ぶりに改訂しました。今号では指針の主なポイントをまとめます。

職場で腰痛を予防するには、労働衛生管理体制を整備した上で、作業・作業環境・健康の3つの管理と労働衛生についての教育を総合的・継続的に実施することが重要です。作業についての管理とは、作業の腰への負担を減らすために作業の自動化、省力化をおこなうことや、作業の姿勢、動作、手順、時間などについて作業標準の策定をするという作業方法、作業手順、体制についての管理で、作業環境についての管理は、寒い場所での作業は腰痛を発生、悪化させやすくするので適切な温度を保つというような照明、床面、作業スペースなどの管理、健康についての管理は健康診断のみならず腰痛予防のための体操を実施するという管理、労働衛生教育は腰痛の発生状況、原因、発生要因の特定、低減措置などについての教育です。

また、それぞれの作業内容のリスクの大きさを評価し、リスクの大きなものから対策を検討して実施するリスクアセスメントや、リスクアセスメントの結果を基に、予防対策の推進の「計画(Plan)」を立て、それを「実施(Do)」し、実施結果を「評価(Check)」し、「見直し・改善(Act)」するという一連のサイクル(PDCA サイクル)により、継続的・体系的に取り組むことができる労働安全衛生マネジメントシステムの考え方を導入して、腰痛予防対策の推進を図ることも有効です。

紙面の都合上、個別の作業ごとの腰痛対策についてまで書くことができませんでした。職場の腰痛対策にお困りでもっと詳しく知りたいという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。

2. アルバイトの非行増加！ 万が一に備えて会社でしておきたいこと

コンビニのアルバイト店員がアイス用の冷凍庫の中に入っているところを写真に撮ってSNSに掲載した事件を皮切りに、飲食店や小売店で類似の事件が相次いで起こっています。中には事件をきっかけに閉店となった店舗もあり、経営者がこの問題を軽く考えてアルバイトに対する教育や労務管理をおざなりにすることは、経営の存続をも危うくする大きなリスクをかかえているといえるでしょう。非行の未然防止策として、就業時間中は業務に集中するため携帯電話(スマホ)の操作やSNS等へのアクセスを禁じたり、休憩時間中や就業時間外でも勤務先の不利益につながるような行為は厳に慎むべきことを教育する必要があります。さらに、これらを職場におけるルールとして徹底するとともに、就業規則や店舗に備付けの業務マニュアル等にも明記しておく必要があるでしょう。

就業規則は常時10人以上の労働者を使用する会社に義務付けられていますが、正社員用の就業規則だけでアルバイト用は作成されていなかったり、あっても規定内容に不備があるケースがみられます。10人未満なので就業規則が作成されていないところもあるでしょう。就業規則やそれに準ずるものが作成されていない、または規定内容に不備があるという場合、万が一従業員に非行があってもそれを事由とした懲戒処分や懲戒解雇ができないおそれがあります。問題を抱える可能性が高い会社では、今一度、自社の就業規則をチェックし、作成の仕方や見直しの要否等について検討しておきましょう。

ただし、規則を作ったからといってアルバイトが全て会社の言うことを聞き、何かあれば処分できるから、という考えではいけません。労務管理の整備に加え、職場環境が良いか気を配ったり、アルバイトにもやりがいを持って働ける魅力ある会社であるよう配慮する(まずは意識をもつ)ことが、大きな非行を食い止めることの一つの手段ではないでしょうか。



3. 年末年始休業のご案内

今年の年末年始休暇は12/28～1/5までとさせていただきます。

● 編集後記 ●

娘の学芸会で「ユタと不思議な仲間たち」のミュージカルをやることになり、過酷なオーディションの末、主役に選ばれました。それならばまずは本物を観て勉強せねば！ということで、至急、劇団四季のミュージカルを観に行きました。圧倒的にパワフルな舞台に慣れていないせいか、翌日はパフォーマンス鑑賞疲れで寝込むほどでした。いやあ、すごかったー！(秋山)

あおぞら人事・労務サポート
 特定社会保険労務士
 秋山幸子 (登録NO.13050514)
 三鷹市下連雀 3-38-4-307
 TEL:0422-24-8625
 FAX:0422-24-8605
 E-mail: info@aozora-sr.com
 URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士
 秋山・隅谷・玉川・安部(武蔵野統括支部)